

科目名	IEP1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	動物看護科屋二3年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	L1 L2 挨拶が出来るようになる アセスメントテスト	オンラインプラクティス L1 L2
2		講義	L3 L4 個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス L3 L4
3		講義	L5 好き嫌いを表現出来るようになる	オンラインプラクティス L5
4		講義	L6 相手の好きなものについて質問が出来るようになる 相手に質問で返すことが出来るようになる	オンラインプラクティス L6
5		講義	L7 時間を尋ねることが出来るようになる 時間を伝えることが出来るようになる	オンラインプラクティス L7
6		講義	L8 相手の意見を聞くことが出来るようになる 自分の意見を言うことが出来るようになる	オンラインプラクティス L8
7		講義	L9 L10 相手の家族について質問出来るようになる 自身の家族について説明出来るようになる 相手の性格と比較して説明出来るようになる	オンラインプラクティス L9 L10
8		講義	L11 L12 相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に返答出来るようになる 相手の服装について尋ねることが出来るようになる	オンラインプラクティス L11 L12
9		講義	L13 相手の日課について質問が出来るようになる 自分の日課について説明出来るようになる	オンラインプラクティス L13
10		講義	L14 継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス L14
11		講義	L15 あるものの順番について質問が出来るようになる あるものの順番について説明出来るようになる	オンラインプラクティス L15
12		講義	L16 学校外での活動について質問出来るようになる 学校外での活動について説明出来るようになる	オンラインプラクティス L16
13		講義	L17 ある場所について質問出来るようになる ある場所について説明出来るようになる	オンラインプラクティス L17
14		定期試験	定期試験	
15		振り返り	振り返り	
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				

科目名	IEP2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	動物看護科 2年3年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	L18 相手に提案を求めることが出来るようになる 相手に提案をすることが出来るようになる	オンラインプラクティス L18
2		講義	L19 L20 ある場所の位置について質問出来るようになる ある場所の位置を説明出来るようになる 道案内が出来る、道順を尋ねることが出来るようになる	オンラインプラクティス L19 L20
3		講義	L21 あるものの値段について尋ねることが出来るようになる あるものの値段を教えることが出来るようになる	オンラインプラクティス L21
4		講義	L23 ある行動の頻度について尋ねることが出来るようになる ある行動の頻度を説明出来るようになる	オンラインプラクティス L23
5		講義	L25 あるものの量について質問出来るようになる あるものの量について話すことが出来るようになる	オンラインプラクティス L25
6		講義	L26 相手の必要なものを尋ねることが出来るようになる 必要なものを説明出来るようになる	オンラインプラクティス L26
7		講義	L27 食生活について説明出来るようになる 健康的な食事について話すことが出来るようになる	オンラインプラクティス L27
8		講義	L28 ある食べ物について質問出来るようになる ある食べ物を説明出来るようになる	オンラインプラクティス L28
9		講義	L29 過去の出来事について話すことが出来るようになる 過去の出来事について尋ねることが出来るようになる1	オンラインプラクティス L29
10		講義	L30 過去の出来事について尋ねることが出来るようになる2	オンラインプラクティス L30
11		講義	L31 ある出来事を説明出来るようになる 出来事を聞いて反応出来るようになる 過去の体験について話したり尋ねたりすることが出来るようになる	オンラインプラクティス L31
12		講義	L32 予定について質問出来るようになる 予定について説明出来るようになる	オンラインプラクティス L32
13		講義	復習	
14		定期試験	定期試験 アセスメントテスト	
15		振り返り	振り返り	
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				

科目名	エコ教養 I 1	必修 選択	必修	年次	1	担当教員 武田 尚幸
学科・コース	動物看護科 昼二三年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1	
教員の略歴	文学部 日本文学科卒 ペットパラダイスDXみなとみらい店勤務後、TCA教務部					
授業の学習 内容	毎週ごとの授業の振り返りを実施することで、授業の習熟度/達成度の見極めを図ります。 滋慶学園の3つの理念の中でも「人間教育」の部分に重きを置き、コミュニケーションの大切さやクラス運営を組織的に行う事により集団での自立心を養いキャリア教育の推進を図ります。					
到達目標	将来業界に出るにあたり、キャリアプランを明確にし社会人としてのマナーや心構えを理解し実践することが出来る。					
評価方法と基準	レポート提出:ト20% 定期試験ト80% 筆記試験評価:GPA(S100~90 A89~80 B79~70 C69~60 F59~0) 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回 レポート課題(教材からの抜粋)を提示し、提出をもってCの評価とする。					

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	講義	他者(クラスメイト)の特徴を理解し、円滑なコミュニケーションをとる事が出来る。	クラスメイトの顔・名前を憶えてくること
2	講義	他者(クラスメイト)の特徴を理解し、円滑なコミュニケーションをとる事が出来る。	クラスメイトの顔・名前を憶えてくること
3	講義	学則読み合わせ。滋慶学園の理念を理解し、実践することが出来る。	学生便覧P20~P45の内容を確認する
4	講義	学則読み合わせ。滋慶学園の理念を理解し、実践することが出来る。	学生便覧P20~P45の内容を確認する
5	講義	学習ポートフォリオの作成① トレーニング授業の様子を動画で撮影。ポイントを入力。	犬種図鑑のP40~p50ページを読む。
6	講義	学習ポートフォリオの作成② トレーニング授業の様子を動画で撮影。ポイントを入力。	犬種図鑑のP40~p51ページを読む。
7	講義	学習ポートフォリオの作成③ トレーニング授業の様子を動画で撮影。ポイントを入力。	犬種図鑑のP40~p52ページを読む。
8	講義	「EPPS」性格検査から自己理解を深めることができる	事後学習:検査の完成
9	講義	グループワークを効率よく進めるスキルが身につく	事後学習:振り返りノート作成/テキスト4章II-1・2購読
10	講義	コンセンサススキルが身につく	事前学習:テキスト第3章II-2・3・4・5購読
11	講義	自己と他者の理解を深めることができる	事後学習:自己分析の完成/振り返りノート作成
12	講義	人間関係をより円滑にするする方法が身につく	事前学習:テキスト第3章I-3購読 事後学習:授業振り返りノートの作成
13	講義	就活や社会で役立つ文章表現力が身につく	事前学習:作文のテーマ探し~夏休みの振り返り 事後学習:文章を完成させる
14	試験	前期試験	事前学習:筆記のために前期半年間の教材やテキストの復習
15	講義	振り返り	事前学習:履歴書作成のための自分の情報(学歴・資格・免許等の取得年年月日)調べ
準備学習 時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】			

科目名	コミュニケーションスキルⅠⅠ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岡田弘子
学科・コース	動物看護科昼二三年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1	
教員の略歴	日本カウンセリング学会認定カウンセラー 心療内科非常勤カウンセラー					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 将来に向けての「キャリア」(社会力や人間力、生きる力)を高めていく。</li> <li>* クラスの関係作り→自己理解&amp;他者理解→仲間との交流→協同作業を目的にする。</li> <li>* 仕事に必要なコミュニケーション力に磨きをかける。</li> <li>* 自己理解と他者理解を深めることにより、自己肯定感と他者認知力を育てる。</li> <li>* 「コミュニケーションスキルアップ検定」の合格を目指し、検定試験対策の集中講義を行う。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 3つのキャリア(セルフマネジメント・チームマネジメント・仕事ワット力)を高めていくことにより、社会人になるための基礎体力を体得する。</li> <li>1. セルフマネジメント:自分をコントロールする能力⇒自分らしさを理解し、積極的に行動する。</li> <li>2. チームマネジメント:人との関係をつくる能力⇒他者を理解しながらコミュニケーションをとる。</li> <li>3. 仕事ゲット力・社会デビュー能力⇒就活や仕事に必要な自己表現力・社会マナーを身に付ける。</li> </ul>					
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>1)出席回数 30%</li> <li>2)ワークへの取り組み姿勢 20%</li> <li>3)振り返り試験 50%</li> <li>4)授業態度(目に余るマナー違反は減点)</li> </ul>					

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習項目	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	自己紹介ワーク	CSUとは？クラス仲間と交流する。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
2		講義	クラスの理解	「クラスのキャリア」を15のグループ会話を体験する。	教科書P37～P39を予習・復習する
3		講義	履歴書作成	履歴書作成の基本とポイントを学ぶ。	卒業校の正式名称を確認しておく。
4		講義	自己分析	自己分析ワークの準備。今までの自分を振り返り、自分の長所・短所を整理する。	今まで歩みと経験を思い出す。
5		講義	エゴグラムパートⅠ	エゴグラムの仕組みを知る。	日常での自分の行動を振り返る。
6		講義	グループワーク「言葉で伝える図形」	自分の思いと伝える図形を描く。	教科書P14～P17を予習・復習する。
7		講義	EPPS性格検査	EPPS性格検査の仕組みを知る。	睡眠を十分とり、体調を整えておく。
8		講義	「EPPSの採点」	EPPS性格検査の採点方法を知る。	
9		講義	EPPS性格検査の解説と検討	EPPS性格検査の結果から、自分の特徴・長所・短所を知る。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
10		講義	私の特徴～リフレーミング～	自分の特徴を長所にする。	自分の長所・短所を見つけておく。
11		講義	グループワーク「ワースト1は誰だ！」	自分の特徴を長所にする。	
12		講義	グループワーク「なぞの宝島」	自分の特徴を長所にする。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
13		講義	グループワーク「おもしろ村」	自分の特徴を長所にする。	
14		試験	試験	前期CSUの振り返り試験。	前期に経験したことを思い出す。
15		講義	振り返り	振り返りワークの作成。「後期への誓い」を行う。	
準備学習 時間外学習			自分と他者に関心を持ち、様々な人と交流しながら、社会に向けてのコミュニケーション力を育てていく。		
【使用教科書・教材・参考書】					
教科書「コミュニケーションスキルアップ検定」 CSUオリジナルワークプリント					

科目名	コミュニケーションスキルⅠ2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岡田弘子
学科・コース	動物看護科昼二3年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1	
教員の略歴	日本カウンセリング学会認定カウンセラー 心療内科非常勤カウンセラー					
授業の学習 内容	<卒業後のキャリア選択・実行に向けてのサポート授業> 1. 就活や仕事に必要な「社会人基礎力」を身につけ、就職への意欲と自信を確かなものにしていく。 2. キャリア教育の視点に基づき、「就労」および「自立」を目指す。 3. これからの「人生」を設計していく。					
到達目標	1. 自分で考え、意志決定をして、行動を選択&実践できる。 2. 「履歴書作成力」「自己PR力」「面接力」をスキルアップし、「就労」および「自立」を実現できる。 3. 自分の人生に即したキャリアプランを検討し、それに必要なキャリア形成とキャリア設計ができる。					
評価方法と基準	1) 出席回数 30% 2) ワークへの取り組み姿勢 20% 3) 振り返り試験 50% 4) 授業態度(目に余るマナー違反は減点)					

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習項目	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	「キャリアサポート」とは	授業の目的と目標を理解する。 「社会人基礎力」を自己チェックする。	2年次の自分を自覚する。
2		講義	「不安シューティング！」	就活への不安や心配ごとをチェック。 その解決策や対応をグループで話し合う。	「就活」をイメージしておく。
3		講義	「不安シューティング！」 グループ発表/就活進捗チェック	「不安シューティング！」の解決策や対応 を発表する。就活の進捗状況を確認する。	就活状況を振り返る。
4		講義	自己分析① 「日常行動検査」/「キャリアアンカー」	行動における特徴と、「キャリアアンカー」 をチェック。将来の自己像をイメージする。	日常の行動を振り返る
5		講義	自己分析② 「パーソナリティ・チェック」/「他己分析」	自分の長所・短所・得意なこと・苦手なこと をまとめる。仲間の協力で他己分析を行う。	自分の長所・短所を見つけておく。
6		講義	自己分析③ 「わたし」に関する100の質問	「わたし」に関する100の質問から、自己P Rに役立つ情報を集め、作成準備を行う。	どんな人間か、自分に目を向ける。
7		講義	自己分析④ 「自己PRチャートワーク」	日常生活を振り返り、苦労したことや困難 な体験から、自己PRポイントを見つける。	印象的な出来事を思い出す。
8		講義	就活スキル① 「面接スキル」	面接での注意点や、説得力ある表現など、 面接の知識とスキルを学ぶ。	面接をイメージしておく。
9		講義	就活スキル② 「自己PR作成」	これまでのワークプリントを活かして、「自 己PRシート」と「3分間自己PR」を作成す る。	自己PRをイメージしておく。
10		講義	就活スキル③ 「面接ロールプレイ」	「3分間自己PR」を発表。面接のポイント を理解しながら、ロールプレイを行う。	面接をイメージしておく。
11		講義	就活スキル④ 「電話・メール・就業マナー」	電話のかけ方やメールの送り方など、 実習や仕事に必要なマナーを再確認す る。	社会的マナーに関心を持つ。
12		講義	夏休みの行動計画	仕事の進め方の基本であるPDCA(計画→ 実行→検証→改善)を実践的に学ぶ。	夏休みの過ごし方を考えておく。
13		講義	ストレスマネジメント	今の自分のストレス度をチェック。 ストレスを理解し、その対処法を考える。	心身の状態を意識しておく。
14		試験	試験	前期の振り返り。授業で得たこと、学んだ こと、気づいたことをまとめる。	ワークプリントを整理しておく。
15		講義	振り返り	「夏休みの行動計画」を検証し、後期の課 題を明確にする。グループ発表を行う。	前期の自分を振り返る。
準備学習 時間外学習			日々の出来事に関心を持ち、自分と向き合うワークから得た学びや気づきを、社会で生きていく力にする。		
【使用教科書・教材・参考書】					
CSUⅡオリジナルワークプリント					

科目名	コンピューター I 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 (株)ブ レーン スタッ フコン サルタ ンツ
学科・コース	動物看護科昼二3年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1	
教員の略歴	滋慶学園グループの一企業である(株)ブレーンスタッフコンサルタンツのインストラクターが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについて特化した講義を実施。					
授業の学習 内容	コンピュータネットワーク環境の適切な利用をとおして、各自の専門分野において有益な情報を得たりデータ加工をおこなうスキルを身に着けることができる					
到達目標	コンピュータネットワーク環境をITリテラシーの観点に基づき適切に利用できる 複合文章の作成 (Word)、表計算や表、グラフの作成 (Excel)、効果的なスライドの作成 (PowerPoint) ができる					
評価方法と基準	定期試験では、パソコンを使用した実技試験をおこない、授業で学んだPC操作の定着度を確認する。 評価は通常点(40点)と期末テスト(60点)の合計100点満点でおこない、学則規定に準ずる。					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/11	演習	ホームポジションを理解し、タッチタイピングができる	インターネット上のイーラーニングテキストで操作手順を確認し、繰り返しの練習をとおして操作を定着させる
2	4/18	演習	ITを利用する上で、正しい知識やモラルを身につけられる	
3	4/25	演習	eラーニングテキストを使用でき、Officeの共通操作ができる	
4	5/9	演習	文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作成できる	
5	5/16	演習	より情報が伝わる、レベルの高いビジネス文書を作成できる	
6	5/30	演習	画像の透過方法、セクション区切り、ページ罫線が設定できる	
7	6/13	演習	Excelの基本操作が作成できる	
8	6/20	演習	基本的な機能を使用して資料を作成できる	
9	6/27	演習	関数やグラフを駆使したレベルの高い資料を作成できる	
10	7/4	演習	Excelレベル1,2で学習した機能を操作できる	
11	7/11	演習	データベース機能を理解し、活用できる	
12	7/18	演習	差し込み印刷機能を利用して、カードが作成できる	
13	9月5日	演習	試験対策(予定)	
14	9月12日	演習	試験(予定)	
15	9月19日	演習	振り返り(予定)	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 滋慶学園グループの学生にとって必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用。 東京コミュニケーションアート専門学校				

科目名	コンピューター演習 I 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 (株)ブ レーン ス タッフ コ ンサ ル タ ン ツ
学科・コース	動物看護科昼三年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1	
教員の略歴	滋慶学園グループの一企業である(株)ブレーンスタッフコンサルタンツのインストラクターが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについて特化した講義を実施。					
授業の学習 内容	コンピュータネットワーク環境の適切な利用をとおして、各自の専門分野において有益な情報を得たりデータ加工をおこなうスキルを身に着けることができる					
到達目標	コンピュータネットワーク環境をITリテラシーの観点に基づき適切に利用できる 複合文章の作成 (Word)、表計算や表、グラフの作成 (Excel)、効果的なスライドの作成 (PowerPoint) ができる					
評価方法と基準	定期試験では、パソコンを使用した実技試験をおこない、授業で学んだPC操作の定着度を確認する。 評価は通常点(40点)と期末テスト(60点)の合計100点満点でおこない、学則規定に準ずる。					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/17	演習	ホームポジションを理解し、タッチタイピングができる	インターネット上のイーラーニングテキストで操作手順を確認し、繰り返しの練習をとおして操作を定着させる
2	4/24	演習	ITを利用する上で、正しい知識やモラルを身につけられる	
3	5/8	演習	eラーニングテキストを使用でき、Officeの共通操作ができる	
4	5/15	演習	文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作成できる	
5	5/22	演習	より情報が伝わる、レベルの高いビジネス文書を作成できる	
6	5/29	演習	画像の透過方法、セクション区切り、ページ罫線が設定できる	
7	6/5	演習	Excelの基本操作が作成できる	
8	6/12	演習	基本的な機能を使用して資料を作成できる	
9	6/19	演習	関数やグラフを駆使したレベルの高い資料を作成できる	
10	6/26	演習	Excelレベル1,2で学習した機能を操作できる	
11	7/3	演習	データベース機能を理解し、活用できる	
12	7/10	演習	差し込み印刷機能を利用して、カードが作成できる	
13	9/4	演習	試験対策(予定)	
14	9/11	演習	試験(予定)	
15	9/18	演習	振り返り(予定)	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 滋慶学園グループの学生にとって必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用。				

科目名	英会話	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	エコ・コミュニケーション科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥がたりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	L1 挨拶が出来るようになる アセスメントテスト	オンラインプラクティス L 1
2		講義	L2 L3 個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス L2 L3
3		講義	L6 好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス L6
4		講義	L8 相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス L8
5		講義	L9 L10 相手の家族について質問出来るようになる 自身の家族について説明出来るようになる 相手の性格と比較して説明出来るようになる	オンラインプラクティス L9 L10
6		講義	L11 相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に返答出来るようになる	オンラインプラクティス L11
7		講義	L7 L13 時間を尋ねることが出来るようになる 時間を伝えることが出来るようになる 相手の日課について質問が出来るようになる	オンラインプラクティス L7 L13
8		講義	L14 継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス L14
9		講義	L19 L20 ある場所の位置について質問出来るようになる ある場所の位置を説明出来るようになる 道案内が出来る、道順を尋ねることが出来るようになる	オンラインプラクティス L19 L20
10		講義	L23 ある行動の頻度について尋ねることが出来るようになる ある行動の頻度を説明出来るようになる	オンラインプラクティス L23
11		講義	L28 ある食べ物について質問出来るようになる ある食べ物を説明出来るようになる	オンラインプラクティス L28
12		講義	L29 L30 過去の出来事について話すことが出来るようになる 過去の出来事について尋ねることが出来るようになる	オンラインプラクティス L29 L30
13		講義	L32 予定について質問出来るようになる 予定について説明出来るようになる	オンラインプラクティス L32
14		定期試験	定期試験 アセスメントテスト	
15		振返り	振返り	
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				



科目名	英会話 I 1	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	動物看護科 2 3 年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	L1 L2 挨拶が出来るようになる アセスメントテスト	オンラインプラクティス L1 L2
2		講義	L3 L4 個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス L3 L4
3		講義	L5 好き嫌いを表現出来るようになる	オンラインプラクティス L5
4		講義	L6 相手の好きなものについて質問が出来るようになる 相手に質問で返すことが出来るようになる	オンラインプラクティス L6
5		講義	L7 時間を尋ねることが出来るようになる 時間を伝えることが出来るようになる	オンラインプラクティス L7
6		講義	L8 相手の意見を聞くことが出来るようになる 自分の意見を言うことが出来るようになる	オンラインプラクティス L8
7		講義	L9 L10 相手の家族について質問出来るようになる 自身の家族について説明出来るようになる 相手の性格と比較して説明出来るようになる	オンラインプラクティス L9 L10
8		講義	L11 L12 相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に返答出来るようになる 相手の服装について尋ねることが出来るようになる	オンラインプラクティス L11 L12
9		講義	L13 相手の日課について質問が出来るようになる 自分の日課について説明出来るようになる	オンラインプラクティス L13
10		講義	L14 継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス L14
11		講義	L15 あるものの順番について質問が出来るようになる あるものの順番について説明出来るようになる	オンラインプラクティス L15
12		講義	L16 学校外での活動について質問出来るようになる 学校外での活動について説明出来るようになる	オンラインプラクティス L16
13		講義	L17 ある場所について質問出来るようになる ある場所について説明出来るようになる	オンラインプラクティス L17
14		定期試験	定期試験	
15		振返り	振返り	
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				

科目名	英会話 I 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	動物看護科 2 年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がったり恥ずかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	L18 相手に提案を求めることが出来るようになる 相手に提案をすることが出来るようになる	オンラインプラクティス L18
2		講義	L19 L20 ある場所の位置について質問出来るようになる ある場所の位置を説明出来るようになる 道案内が出来る、道順を尋ねることが出来るようになる	オンラインプラクティス L19 L20
3		講義	L21 あるものの値段について尋ねることが出来るようになる あるものの値段を教えることが出来るようになる	オンラインプラクティス L21
4		講義	L23 ある行動の頻度について尋ねることが出来るようになる ある行動の頻度を説明出来るようになる	オンラインプラクティス L23
5		講義	L25 あるものの量について質問出来るようになる あるものの量について話すことが出来るようになる	オンラインプラクティス L25
6		講義	L26 相手の必要なものを尋ねることが出来るようになる 必要なものを説明出来るようになる	オンラインプラクティス L26
7		講義	L27 食生活について説明出来るようになる 健康的な食事について話すことが出来るようになる	オンラインプラクティス L27
8		講義	L28 ある食べ物について質問出来るようになる ある食べ物を説明出来るようになる	オンラインプラクティス L28
9		講義	L29 過去の出来事について話すことが出来るようになる 過去の出来事について尋ねることが出来るようになる1	オンラインプラクティス L29
10		講義	L30 過去の出来事について尋ねることが出来るようになる2	オンラインプラクティス L30
11		講義	L31 ある出来事を説明出来るようになる 出来事を聞いて反応出来るようになる 過去の体験について話したり尋ねたりすることが出来るようになる	オンラインプラクティス L31
12		講義	L32 予定について質問出来るようになる 予定について説明出来るようになる	オンラインプラクティス L32
13		講義	復習	
14		定期試験	定期試験 アセスメントテスト	
15		振返り	振返り	
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				

科目名	産業動物学 I	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長嶺幸 介
学科・コース	動物看護科昼二三年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	競走馬牧場・乗馬クラブ・総合ペットショップ勤務、現在は移動動物園や動物関連番組の監修等をしている						
授業の学習 内容	産業動物の歴史や品種、それぞれの飼育管理法、生理・習性などを含む生態、疾病などを理解することによって、産業動物を扱い管理できるようにする。また、畜産業と社会との関わりを学ぶことによって、業界の現状を把握し動物福祉と看護師の関わりを考えることができる。						
到達目標	畜産業について理解し説明できる。産業動物の福祉について理解し説明できる。各産業動物の歴史、品種、生理・習性などを含む生態、飼育管理法、疾病などを理解し説明できる。						
評価方法と基準	定期試験100% 60点以上で合格。再試験は当日の公欠が認められた者のみ。追試験は1回本試験と同じ問題で行う。60点以上で合格。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	導入(授業について)、畜産業とは	授業の復習(ノート整理)
2		講義	各論: 綿羊(歴史・品種)	授業の復習(ノート整理)
3		講義	各論: 綿羊(解剖・生理・習性)	授業の復習(ノート整理)
4		講義	各論: 綿羊(飼養管理・疾病)	授業の復習(ノート整理)
5		講義	各論: 山羊(歴史・品種)	授業の復習(ノート整理)
6		講義	各論: 山羊(解剖・生理・習性)	授業の復習(ノート整理)
7		講義・実習	各論: 山羊(飼養管理・疾病)	授業の復習(ノート整理)
8		講義	各論: 豚(歴史・品種)	授業の復習(ノート整理)
9		講義	各論: 豚(解剖・生理・習性)	授業の復習(ノート整理)
10		講義	各論: 豚(飼養管理・疾病)	授業の復習(ノート整理)
11		講義	各論: 鶏(歴史・品種)	授業の復習(ノート整理)
12		講義	各論: 鶏(解剖・生理・習性)	授業の復習(ノート整理)
13		講義・実習	各論: 鶏(飼育管理・疾病)	授業の復習(ノート整理)
14		定期試験	筆記試験	前期ノート見直しと理解
15		講義	振り返り	疑問点などの最終確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
必要に応じて随時書籍等を使用。また必要に応じて飼育室より動物たちを借りる。				

科目名	産業動物学Ⅱ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長嶺幸 介
学科・コース	動物看護科昼二三年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	競走馬牧場、乗馬クラブ、総合ペットショップに勤務。現在は移動動物園や動物関連番組の監修等をしている						
授業の学習 内容	産業動物の歴史や品種、それぞれの飼育管理法、生理・習性などを含む生態、疾病等を理解することによって、産業動物を扱い管理できるようにする。また、畜産業と社会との関わりを学ぶことによって、業界の現状を把握し、動物の福祉と看護師の関わり方を考えることができる。						
到達目標	畜産業について理解し説明できる。産業動物の福祉について理解し説明できる。各産業動物の歴史、品種、生理・習性などを含む生態、飼育管理法、疾病等を理解し説明できる。						
評価方法と基準	小試験ト20% 定期試験ト80% 筆記試験評価：GPA(S100～90 A89～80 B79～70 C69～60 F59～0) 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。 追試験1回 レポート課題(教材からの抜粋)を提示し、提出をもってCの評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	各論：馬(歴史・品種)	授業の復習(ノート整理)
2		講義	各論：馬(解剖・生理・習性)	授業の復習(ノート整理)
3		講義	各論：馬(飼養管理)	授業の復習(ノート整理)
4		講義	各論：馬(疾病)	授業の復習(ノート整理)
5		講義	各論：牛(歴史・品種)	授業の復習(ノート整理)
6		講義	各論：牛(解剖・生理・習性)	授業の復習(ノート整理)
7		講義	各論：牛(飼養管理)	授業の復習(ノート整理)
8		講義	各論：牛(疾病)	授業の復習(ノート整理)
9		講義	福祉(5つの自由と飼養、概要と課題、)	授業の復習(ノート整理)
10		講義	福祉上の問題点(摂食・物理的環境)	授業の復習(ノート整理)
11		講義	福祉上の問題点(苦痛・疾病・損傷)	授業の復習(ノート整理)
12		講義	福祉上の問題点(行動・恐怖)	授業の復習(ノート整理)
13		講義	産業動物の国際的福祉基準と方策	授業の復習(ノート整理)
14		定期試験	筆記試験	後期まとめと理解
15		講義	振り返り	後期まとめと理解
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 必要に応じて随時、書籍等を使用。				

科目名	神経疾患	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮川明子
学科・コース	動物看護科昼二三年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	①獣医師						
授業の学習 内容	この授業は犬猫の代表的な神経疾患を理解し、必要になる検査、薬剤、看護について学ぶことが目的です。同時に誤診しやすい問題行動や整形疾患との違いを知ることで、神経疾患の理解をさらに深めます。						
到達目標	1)犬猫の代表的な神経疾患について理解し、看護の注意点を理解する 2)必要となる神経学的検査の仕方と評価、薬剤の使用上の注意点など理解する 3)誤診しやすい病気と比較することで、さらに神経疾患の理解を深める						
評価方法と基準	定期試験100%(14週目に筆記試験を実施)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義	犬の代表的な神経疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
2	10月11日	講義	猫の代表的な神経疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
3	10月18日	講義	神経学的検査(反射など)を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
4	10月25日	講義	神経学的検査(脳神経検査など)を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
5	11月1日	講義	先天性・感染性の神経疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
6	11月8日	講義	痴呆など高齢動物の神経症状を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
7	11月15日	講義	誤診しやすい問題行動との違いを理解する	授業ノート、配布資料を見直す
8	11月22日	講義	代謝生脳疾患について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
9	11月29日	講義	発作やてんかんについて理解する	授業ノート、配布資料を見直す
10	12月6日	講義	神経疾患に使用する薬剤を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
11	12月13日	講義	誤診しやすい整形外科との違いを理解する	授業ノート、配布資料を見直す
12	12月20日	講義	神経疾患の看護について理解を深める	授業ノート、配布資料を見直す
13	1月17日	講義	1~12週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14	1月24日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	1月31日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習			授業ノートや配布資料を整理・復習・新しい言葉を調べる	
【使用教科書・教材・参考書】筆記用具				

科目名	動物看護学概論 I 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	阿片
学科・コース	動物看護科 昼二三年制	授業 形態	演習	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	認定動物看護師 複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習 内容	犬や猫の予防や病気、看護は動物を専門に扱う職業にとって必要不可欠な知識です。動物病院で行われる予防や検査、看護について学ぶことで、飼い主様と動物がより良い暮らしを送る為のアドバイスが可能となります。犬や猫と関わるとどんな職種に就いても知っておくべき動物看護の基礎を習得できます。						
到達目標	1) 犬や猫の予防について正しく理解し、その方法や必要性を飼い主様に説明することができる 2) 感染症予防の方法を習得することができる 3) 予防可能な病気に関する知識を深め、動物がより健康に暮らせるようアドバイスすることができる						
評価方法と基準	1) 定期試験60%(14週目に筆記試験を実施) 2) 小テスト30%(9週目に筆記試験を実施) 3) 出席数・授業中の態度10%(授業内での質問に対し、積極的に発言できる等)						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義	職業倫理を理解する。命ある動物を相手にするということを実感することができる	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる
2		講義	犬の予防(狂犬病予防法と飼い主の義務、狂犬病の病態について理解し、説明できる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる
3		講義	犬の予防(混合ワクチンで予防可能な感染症の種類や症状を理解することができる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる
4		講義	犬の予防(混合ワクチンで予防可能な感染症の種類や症状を理解することができる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる
5		講義	予防(ワクチンと免疫の関係を理解し、ワクチン接種プログラムの知識を習得できる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる
6		講義	犬系状虫症(感染経路や予防法、予防薬の種類を理解し、アドバイスすることができる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる
7		講義	外部寄生虫(感染経路や駆虫・予防法を理解し、知識を習得することができる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる
8		講義	熱中症(原因や症状、治療や予防方法を理解し、応急処置を実施することができる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる
9		講義	小テスト(各単元の理解度チェックを筆記試験にて行う)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる
10		講義	猫の予防(混合ワクチンで予防可能な感染症の種類や症状を理解することができる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる
11		講義	消化管内寄生虫(感染経路や駆虫・予防方法を理解し、知識を習得できる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる
12		講義	犬と猫の予防(去勢手術のメリットやデメリット、手術の流れを理解することができる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる
13		講義	犬と猫の予防(避妊手術のメリットやデメリット、手術の流れを理解することができる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる
14		講義	前期期末試験(筆記試験)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる
15		講義	振り返り(答案用紙の返却・解答を行い、できなかったところを正しく習得することができる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる
準備学習 時間外学習			自主学习で充当		
【使用教科書・教材・参考書】					
動物看護の教科書等・検査機器や備品等・配布プリント等					

科目名	動物看護学概論 I 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	阿片
学科・コース	動物看護科 昼二三年制	授業 形態	演習	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	認定動物看護師 複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習 内容	犬や猫の予防や病気、看護は動物を専門に扱う職業にとって必要不可欠な知識です。動物病院で行われる予防や検査、看護について学ぶことで、飼い主様と動物がより良い暮らしを送る為のアドバイスが可能となります。犬や猫と関わるとどんな職種に就いても知っておくべき動物看護の基礎を習得できます。						
到達目標	1) 犬や猫の身体の仕組みについて理解し、保定法を習得することができる 2) 基本的な血液検査、尿検査、糞便検査の意義を理解し、飼い主様に説明ができる 3) 適切な消毒方法を習得し、感染症の蔓延を防ぐことができる						
評価方法と基準	1) 定期試験60%(14週目に筆記試験を実施) 2) 小テスト30%(8週目に筆記試験を実施) 3) 出席数・授業中の態度10%(授業内での質問に対し、積極的に発言できる等)						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義	感染症予防(感染経路や消毒薬についての正しい知識を身につけ、消毒法を習得できる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	
2		講義	栄養(ライフステージ別のエネルギー要求量や給与量の計算方法を理解し、習得できる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	
3		講義	中毒(犬と猫が摂取すると危険な物やその中毒症状を理解し、適切にアドバイスできる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	
4		講義/実技	保定(犬と猫の身体の仕組みを理解し、動物や施術者にとって安全な保定法を習得できる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	
5		講義	血液検査(血液の基礎の知識を身につけ、各血球の役割や特徴を理解することができる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	
6		講義	血液検査(血液検査の種類や意義、手技を理解し習得することができる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	
7		講義	尿検査(尿についての知識を習得し、検査の意義や手技を理解することができる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	
8		講義	糞便検査(糞便についての知識を習得し、検査の意義や手技を理解することができる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	
9		講義	画像検査(レントゲンや超音波検査の意義や手技を理解することができる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	
10		講義	小テスト(各単元の理解度を筆記試験にて行う)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	
11		講義	肥満(BCSの評価法や正しい減量法を理解し、アドバイスができる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	
12		講義	歯周病(犬と猫の歯の構造や特徴を理解し、歯周病の原因や予防法の知識を習得できる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	
13		講義	皮膚疾患(犬と猫の皮膚の特徴を理解し、正しいスキンケアや薬浴の知識を習得できる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	
14		講義	後期末末試験(筆記試験)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	
15		講義	振り返り(答案用紙の返却・解答を行い、できなかったところを正しく習得することができる)	動物看護の教科書を熟読し、予習復習を行うことで知識を習得することができる	
準備学習 時間外学習			自主学习で充当		
【使用教科書・教材・参考書】					
動物看護の教科書等・検査機器や備品等・配布プリント等					

科目名	動物機能形態学実習	必修 選択	1	担当教員 早川紀子
学科・コース	動物看護科 昼二三年制	授業 形態	1	
教員の略歴	動物病院モルム勤務			
授業の学習 内容	動物の筋肉、骨格、臓器など実物を見ながら確認する その器官の名称と働きについて学んでいく			
到達目標	それぞれの筋肉、骨格の名前を覚える それぞれの臓器の名称と、その機能を理解する 動物種ごとに共通するもの、異なるものがあることを理解する			
評価方法と基準	筆記試験(100%)			

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義	実習概論:実習の趣旨・目的について	予習45分:動物形態機能学の復習 復習45分:動物形態機能学の復習
2	10月9日	実習	海外研修	予習45分:馬の筋骨格を調べる 復習45分:馬の筋骨格に触れて学ぶ
3	10月16日	実習	筋・骨格系1:前腕の筋肉とその働きについて実際に見て学ぶ	予習45分:イヌの前腕の筋肉の名称を調べる 復習45分:前腕筋の機能を理解する
4	10月23日	実習	筋・骨格系2:上腕の筋肉とその働きについて実際に見て学ぶ	予習45分:イヌの上腕筋群の名称を調べる 復習45分:上腕筋群の機能を理解する
5	10月30日	実習	筋・骨格系3:体幹の筋肉とその働きについて学ぶ	予習45分:主な消化器の名称を調べる 復習45分:肝臓の構造を覚える
6	11月6日	実習	消化器系:特に肝臓のマイクロ解剖学と、動物種により異なる構造を理解する	予習45分:再度、麻酔導入から覚醒までの手順をシミュレートする 復習45分:覚醒後のケアの要点を理解する
7	11月13日	実習	循環器系:心臓の構造と各部名称を学ぶ	予習45分:心臓の各所名称を調べる 復習45分:心臓の機能を覚える
8	11月20日	実習	呼吸器系:肺のマイクロ解剖学を行う	予習45分:呼吸器の各所の名称を調べる 復習45分:肺の構造を覚える
9	11月27日	実習	生殖器系:雌性生殖器和雄性生殖器の名称と働きを実際に見て学ぶ	予習45分:雌性・雄性生殖器の各所名称を調べる 復習45分:避妊・去勢手術の目的を理解する
10	12月4日	実習	組織学1:特徴のある主要臓器の組織像を観察する	予習45分:顕微鏡の使い方を復習する 復習45分:上皮細胞の特徴を覚える
11	12月11日	実習	組織学2:特徴のある主要臓器の組織像を観察する	予習45分:組織の観察の仕方を調べる 復習45分:間葉系細胞の特徴を覚える
12	12月18日	実習	組織学3:特徴のある主要臓器の組織像を観察する	予習45分:腫瘍の分類を調べる 復習45分:腫瘍細胞の特徴を覚える
13	1月15日	講義	後期のまとめ	予習45分:一年間の内容を振り返る 復習45分:テストに向けての再確認
14	1月22日	試験	筆記試験	予習45分:テスト勉強 復習45分:復習
15	1月29日	講義	一年の振り返り	予習45分:テストの見返し 復習45分:テストの復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	動物行動学	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 福田史夫
学科・コース	動物看護科昼二三年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1	
教員の略歴	ニホンザル、クモザルを含む東南アジアのサル、アフリカゾウ、マダガスカルを調査・研究し、京都大監査研究科大動物学 研究員、共立薬科大、慶應義塾大その他の大学で非常勤講師、現在はTCAの非常勤講師をしながら丹沢山麓の自然探索を 行っている					
授業の学習 内容	①行動学の授業は主に性行動や性行動からみた動物たちの社会についてであり、動物飼育において座学として性 行動・繁殖行動の知識を得ることは実際の繁殖飼育においても大いに役立つ。②性行動の知識は動物園飼育論 や飼育概論、さらには畜産飼養Ⅱにおいても役立つであろう。③その為により下記のような授業計画・内容が作られ た。					
到達目標	①動物たちの性行動や性関係はさまざまであり、繁殖のためにただ単にオス・メス一組の組み合わせでは間違っ ていることが判り、将来飼育人として働く場合に、この動物行動学の授業を他の者に説明でき、飼育に活かせるこ と。					
評価方法と基準	定期試験50%、出席率50%					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義	教員自己紹介と動物行動学のイントロ、DVD「性と生命の自然史」		動物行動学は飼育や牧畜、狩猟から生まれ た学問であることを理解する。	
2		講義	性と繁殖:オスとメスの存在意義		オスには性行動がなくても繁殖できる、オスと メスがいることによって生物は進化してきたこ とを自分が興味を持つ動物で理解できるように	
3		講義	発情季の一致:同種の両性個体が同時に発 情することで性行動が行われる		どんな動物種も発情時期が同じであるこ とを、飼育下の動物で調べる	
4		講義	発情を促す外的要因:温度、湿度、気圧、潮 汐		性行動を引き起こす発情要因はさまざまな要 因が絡んでいることを復習する。	
5		講義	発情を促す内的要因:子殺しに寄る発情		乳飲み子が殺されることにより発情するが、子殺 し行動がヒトにもある場合の例を新聞などで調べ る	
6		講義	誘引行動1:視覚・嗅覚・聴覚に訴える		発情しても異性を誘引しなければ接触できないが、下等動物では精 子を放出するだけのものもいるが、それらはどんな動物群のものか 調べる。	
7		講義	行船公園内の自然動物園でクモザルの観察 及び個体識別		クモザルが発情したらどうなるだろう。前もって調べて観察しよう。ま た、子持ちメスの行動と他のメスやオスとの行動の違いを調べてみ よう。	
8		講義	誘引行動3:嗅覚・聴覚に訴える		視覚に訴える動物種と嗅覚・聴覚に訴える動 物種の違いは何か、皆で議論しよう。	
9		講義	説得行動:オスがメスを説得する4タイプ		オスがメスを説得する動物種とそうでない動 物種がいる、その違いを復習しよう。	
10		講義	宥めと甘えの行動:メスがオスに対する交尾 直前の行動		交尾行動に関係なく甘える行動をするのは子 供やメスである。これは何故だろう？	
11		講義	性的隔離機構1:近縁種であろうとも自然界 では交雑されない機構が存在する		同じ属内の種を近縁種と云う(例:オオカミと コヨーテ、同じCanisだ)。異なった地域に生息 する近縁種は檻などで飼育すると雑種が生 まれるのはどうしてだろう？調べてみよう！	
12		講義	性的隔離機構2:近縁種であろうとも自然界 では交雑されない機構が存在する		身近な動物たちを上げて、それらはどのよ うな性淘汰が働いているか考えてみよう！	
13		講義	性淘汰:同性内淘汰と異性間淘汰			
14		試験			有性生殖から性淘汰までを復習する	
15		振り返り	半年間の授業を振り返る、DVD「性と生命の 自然史」鑑賞			
準備学習 時間外学習			下記の本をノートを取りながら読む			
【使用教科書・教材・参考書】						
福田史夫著「ヒトの子どもが寝小便するわけ」、「頭骨コレクション」築地書館を教材、「箱根山のサル」晶文社を参考書						

科目名	動物内科看護学実習Ⅱ1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	羽場智子
学科・コース	動物看護科昼二3年制	授業 形態	演習	(単位)	1		
教員の略歴	獣医師(動物病院勤務)						
授業の学習 内容	動物病院で動物看護師として自信をもって働けるよう、主に血液検査・糞便検査・尿検査などの臨床検査を正確かつ迅速に行えるようにします。 検査結果の評価も理解し、オーナー様からの質問に的確に答えられるよう知識を習得します。						
到達目標	1. 『健康な動物』について知ることが出来る 2. 臨床検査について理解し、正確に実施することが出来る 3. 臨床検査結果について理解し、報告書を作成することが出来る 4. 獣医師の指導のもと、オーナー様へ的確な指導をすることが出来る						
評価方法と基準	1. 定期試験:50% 2. 提出物及び確認テスト:20%(提出物は内容によって5点までの減点を行う・確認テストの点は評価しない) 3. 飼育当番への参加:10%(1回の欠席・遅刻に関して1点の減点を行う) 4. 授業中の態度・参加意欲:20%(参加意欲が低いことに対して1点の減点を行う) ※1回の欠席・遅刻・早退に対して1点の減点を行う						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	動物看護師の仕事内容を理解できる	テキストP10-15.教科書1巻P70-90熟読 確認テスト①の勉強
2		実習	身体一般検査を実施できる	テキストP68-70.P89・教科書1巻P100.104.4巻P10-19.プリント熟読 確認テスト②の勉強
3		実習	身体一般検査を実施・評価ができる	教科書1巻P70-92.P100-104.プリント熟読 確認テスト③の勉強
4		実習	身体検査の実施・評価・報告ができる	テキストP71.教科書3巻150-180.4巻P9-23.プリント熟読 確認テスト④の勉強
5		実習	動物の保定ができる	テキストP60-67.教科書4巻P24-28・プリント熟読 確認テスト⑤の勉強
6		実習	検査機器が正しく使用できる 簡易染色ができる	テキストP131-135.P144.教科書5巻P166-168.177.プリント熟読 確認テスト⑥の勉強
7		実習	尿検査の実施・評価・報告ができる	テキストP154-159.P127-128.教科書5巻P211-217.プリント熟読 確認テスト⑦の勉強・飼育当番参加
8		実習	糞便検査の実施・評価・報告ができる	テキストP160-165.P129.教科書5巻P206-210.配布プリント熟読 確認テスト⑧の勉強・飼育犬・飼育猫のバイタルチェック
9		小テスト	振り返り・復習ができる(前期試験の評価対象外) 注射器の取り扱いができる	配布プリント熟読・確認テスト①～⑧まで復習 飼育犬・飼育猫について詳細情報を整理
10		実習	採血時の保定ができる 血液処理ができる	テキストP106-109.P122-127.教科書4巻P37-44.5巻P239-242 配布プリント熟読・確認テスト⑨の勉強・飼育当番参加
11		実習	ヘマトクリット管の実施・評価・報告ができる	テキストP139-141.教科書5巻P174-178 配布プリント熟読・確認テスト⑩の勉強・課題ノート製作
12		実習	セルタックの実施・評価・報告ができる 血液検査(ヘマトクリット管)ができる	テキストP138.教科書5巻P178-180.配布プリントの熟読 課題ノート作成
13		実習	血液検査(セルタック・ヘマトクリット管)ができる	前期試験に向けての勉強 飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
14		試験	前期試験の実施(実技)	飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
15		実習	振り返り	誤答の再確認 飼育当番での飼育犬・飼育猫の管理
準備学習 時間外学習			飼育当番で充当	
【使用教科書・教材・参考書】 動物看護実習テキスト・動物看護の教科書1.3.4.5巻・筆記用具・腕時計など電卓・実習着・動きやすい靴・配布プリント				
【他】 実習着の着用・運動靴(サンダル・ヒールのあるもの・厚底などは避ける)・髪をまとめる・爪を切る・アクセサリーをはずす				

科目名	動物内科看護学実習Ⅱ2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	羽場智子
学科・コース	動物看護科昼二3年制	授業 形態	演習	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	獣医師(動物病院勤務)						
授業の学習 内容	動物病院で動物看護師として自信をもって働けるよう、血液検査・細胞診・病理組織検査・遺伝子検査・心電図・X線検査・放射線防護・CT/MRI・超音波検査・内視鏡・神経学的検査・皮膚検査・眼科検査などの臨床検査を正確かつ迅速に行えるようにします。 検査結果の評価も理解し、オーナー様からの質問に的確に答えられるよう知識を習得します。						
到達目標	1. 『健康な動物』について知ることが出来る 2. 臨床検査について理解し、正確に実施することが出来る 3. 臨床検査結果について理解し、報告書を作成することが出来る 4. 獣医師の指導のもと、オーナー様への的確な指導をすることが出来る						
評価方法及び基準	1. 定期試験:50% 2. 提出物及び確認テスト:20%(提出物は内容によって5点までの減点を行う・確認テストの点は評価しない) 3. 飼育当番への参加:10%(1回の欠席・遅刻に関して1点の減点を行う) 4. 授業中の態度・参加意欲:20%(参加意欲が低いことに対して1点の減点を行う) ※1回の欠席・遅刻・早退に対して1点の減点を行う						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・実習	狂犬病・フィラリア予防について知ることができる	教科書3巻P102-103.158-159熟読 配布プリント熟読 確認テスト①～④の勉強 飼育当番で飼育動物管理・1年生指導準備ができる
2	4月23日	講義・実習	狂犬病接種の補助・オーナー指導・接種後対応ができる	
3	5月7日	講義・実習	犬糸状虫の検査ができる	
4	5月14日	講義・実習	犬糸状虫の検査・予防薬の説明ができる	教科書5巻P170-174.179熟読 確認テスト⑤の勉強
5	5月21日	講義・実習	臨床検査学実習Ⅰの復習・学習レベル再確認ができる 血液塗抹標本の作製ができる	
6	5月28日	講義・実習	尿検査の手順・評価の再確認ができる 迅速かつ正確に実施できる	テキストP154-159.127-128.教科書4巻P52-58熟読 確認テスト⑥の勉強・飼育当番参加
7	6月4日	講義・実習	糞便検査の手順・評価の再確認ができる 迅速かつ正確に実施できる	テキストP160-165、129.教科書4巻P46-50熟読 確認テスト⑦の勉強・飼育当番参加
8	6月11日	講義・実習 小テスト	今までの知識の再確認ができる(前期の評価対象外)	飼育当番で飼育動物管理・1年生指導ができる
9	6月18日	講義・実習	赤血球の異常について知ることができる 網状赤血球の検査・ニューメチレンブルー染色ができる	テキストP131-149.169-170熟読 教科書5巻P4～39.173.180-184.192.201-205.228-232熟読
10	6月25日	講義・実習	血液凝固系について知ることができる 凝固系検査ができる	
11	7月2日	講義・実習	血液塗抹標本の作製・染色(ライトギムザ)・保存(封入)ができる	1年時に作成したレポート熟読 確認テスト⑧～⑩の勉強・飼育当番参加 飼育当番で飼育動物管理・1年生指導ができる
12	7月9日	講義・実習	高倍率における標本の観察・顕微鏡の取り扱いができる	飼育当番で飼育動物管理・1年生指導ができる
13	9月3日	講義・実習	前期を振り返り、再確認することができる	
14	9月10日	試験	前期試験の実施(筆記・実技)	飼育当番で飼育動物管理・1年生指導ができる
15	9月17日	講義	振り返り	誤答の再確認ができる 飼育当番で飼育動物管理・1年生指導ができる
準備学習 時間外学習			飼育当番で充当	
【使用教科書・教材・参考書】 動物看護実習テキスト・動物看護の教科書1.3.4.5巻・筆記用具・腕時計など電卓・実習着・動きやすい靴・配布プリント				
【他】 実習着の着用・運動靴(サンダル・ヒールのあるもの・厚底などは避ける)・髪をまとめる・爪を切る・アクセサリをはずす				

科目名	動物内科看護学実習Ⅰ2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	江尻
学科・コース	動物看護科昼二3年制	授業 形態	演習	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	認定動物看護師 複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習 内容	1年次で学んだ基本的な動物看護の知識や技術をより確実に学び、動物看護師の役割を理解できるように講義を行います。体の仕組みや様々な疾病により異なる症状を正しく理解し、動物看護師としての役割を果たすことでより良い看護やサポート、アドバイスをを行う事が出来るようになります。 動物看護の知識や技術を正しく理解し習得する事で、他者(病院スタッフや飼い主)との情報共有やアドバイスが的確に行えるようになるため、コミュニケーション能力も習得出来る事が本授業の特徴です。						
到達目標	1)看護動物に対する観察技術を習得する事が出来る。 2)動物の健康管理やそのために行う様々な検査等に必要の手技を習得する事が出来る。						
評価方法と基準	1)定期試験60%(14週目に筆記試験を実施) 2)小テスト30%(12週目に実施) 3)出席数・授業中の態度10%(授業内での質問に対し、積極的に発言が出来る等)						

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月7日	講義	動物看護に必要な技術を理解する(動物を「観察」する事が出来る):グルーミング(ヘルスチェック等)	動物看護の教材を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る
2	5月14日	講義	動物看護に必要な技術を理解する(動物を「観察」する事が出来る):グルーミング(耳、爪、眼、歯式)	動物看護の教材を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る
3	5月21日	実習	動物看護に必要な技術を理解する(動物を「観察」する事が出来る):グルーミング(グルーミングツールを使用)	動物看護の教材を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る
4	5月28日	実習	動物看護に必要な技術を理解する(動物を「観察」する事が出来る):グルーミング(グルーミングツールを使用)	動物看護の教材を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る
5	6月4日	講義	動物看護に必要な保定法を習得する事が出来る(犬や猫、ウサギなど)	動物看護の教材を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る
6	6月18日	講義	動物看護に必要な保定法を習得する事が出来る(犬や猫、ウサギなど)	動物看護の教材を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る
7	6月25日	実習	動物看護に必要な保定法を習得する事が出来る(学校の飼育動物を使用し、様々な保定法を行う)	動物看護の教材を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る
8	7月2日	実習	動物看護に必要な保定法を習得する事が出来る(学校の飼育動物を使用し、様々な保定法を行う)	動物看護の教材を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る
9	7月9日	講義	輸液管理(輸液療法に必要な知識と手技を習得する事が出来る)	動物看護の教材を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る
10	7月16日	講義	輸液管理(輸液療法に必要な知識と手技を習得する事が出来る)	動物看護の教材を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る
11		講義	輸液管理(輸液療法に必要な知識と手技を習得する事が出来る)	動物看護の教材を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る
12		講義	小テスト(各単元の理解度を筆記試験にて行う。)	動物看護の教材を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る
13		講義	小テスト解答・解説(自己の理解度を確認し、復習する事で知識を習得する事が出来る)	動物看護の教材を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る
14		試験	前期期末試験(筆記試験)	動物看護の教材を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る
15		講義	振り返り(答案用紙の返却・解答をして、出来なかったところを正しく習得する事が出来る。)	動物看護の教材を熟読し、予習復習を行う事で知識を習得する事が出来る
準備学習 時間外学習			自主学习で充当	
【使用教科書・教材・参考書】				
動物看護の教科書(緑書房)等・検査器機や備品等・配布プリント等				

科目名	動物理学療法 I	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	千葉路 子
学科・コース	動物看護科昼二三年制	授業 形態	演習	総時間 (単位)	1		
教員の略歴							
授業の学習 内容	理学療法を実施するにあたって、体験しておくべきこと、知っておくべきことを学びます。						
到達目標	知識ばかりでなく、即、実践できるように心構え、準備等ができるところまで学ぶ						
評価方法と基準	定期試験(14週目に実技試験＋筆記試験)を実施 定期試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	筋肉図を作ろう① (犬の骨格・筋肉について理解する)	筋肉について復習
2		演習	筋肉図を作ろう②(骨格・筋肉について理解 をし筋肉図を作成する・下書き)	骨格について復習
3		演習	筋肉図を作ろう③(骨格・筋肉について理解 をし筋肉図を作成する・粘土)	筋肉図の制作をすすめる
4		演習	筋肉図を作ろう④(骨格・筋肉について理解 をし筋肉図を作成する・色付け・完成)	筋肉図の制作をすすめる
5		演習	リハビリ施設のある動物病院見学(動物看護師と 動物理学療法士としての業務内容を理解する)	ONE千葉どうぶつ整形外科センターについ て調べる・整形外科の症例/症状について 復習する
6		演習	プールでの学校犬のリハビリ (学校犬を使用し、リハビリを実践する)	リハビリ内容を確認する/リハビリを行なった 際の記録をまとめる
7		演習	プールでの学校犬のリハビリの反省会 (反省・課題のまとめ)	リハビリを行なった際の反省点や課題につ いてまとめる
8		演習	犬のフィットネス施設の見学(アニマルフィット ネストレーナーの仕事を理解する)	フィットネス施設について調べる(メニュー内 容など)
9		演習	大学病院の見学 (動物の研究内容について学ぶ)	大学病院でどのようなことをしているか事前 に確認する
10		演習	秋開催の『保護犬イベント』の準備 1 (計 画を立てる)	保護犬イベントについて調べる
11		演習	秋開催の『保護犬イベント』の準備 2 (計 画を立て用意する)	集客を伸ばすため、どのようなことができる か各自考える
12		演習	秋開催の『保護犬イベント』の準備 3 (備 品の製作開始)	イベントに向けての備品制作をすすめる
13		演習	秋開催の『保護犬イベント』の準備 製作	イベントに向けての備品制作をすすめる
14		演習	テスト	前期の授業の復習をおこなう
15		演習	振り返り	前期の振り返りをおこなう
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	動物臨床栄養学 I 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮川
学科・コース	動物看護科 2・3年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	獣医科大学にて動物の腎臓病の研究中						
授業の学習 内容	授業形式としては、独自で作成したスライドを配布するので、それに書き込みながら学んでいただくというものです。内容としては、犬・猫の栄養学についてであり、必要な知識を深めることはもちろんのこと、実際に動物のご家族に伝えたり、アドバイスできる能力を習得できることが本授業の特徴です。						
到達目標	1) 5大栄養素の特徴について説明することができる。 2) 犬・猫のBCSを評価し、適切な食事量を算出することができる。 3) 犬・猫に与えてはいけない食物を理解し、その理由を説明することができる。						
評価方法と基準	1. 定期試験: 90% (14週目に筆記試験を実施) 2. 講義中の態度および出席率: 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	5大栄養素(5大栄養素の特徴、そして栄養学を学ぶことの重要性が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
2		講義	炭水化物(栄養素の特徴、そして糖質と繊維の違いを理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
3		講義	たんぱく質(栄養素の特徴、そして犬・猫の必須アミノ酸の役割を理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
4		講義	脂質(栄養素の特徴、そして犬・猫の必須脂肪酸の役割を理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
5		講義	ビタミン ①(脂溶性ビタミンの特徴、そしてその過剰または欠乏症による影響を理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
6		講義	ビタミン ②(水溶性ビタミンの特徴、そしてその過剰または欠乏症による影響を理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
7		講義	ミネラル(ミネラルの特徴、そしてその過剰または欠乏症による影響を理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
8		講義	エネルギー要求量(RER, DERなど)の意味、そして計算方法を理解できる。	1.5時間: 指定教科書にて予復習
9		講義	栄養状態の評価法(BCS, 体脂肪率など)、そして飼養標準(AAFCO)について理解できる。	1.5時間: 指定教科書にて予復習
10		講義	ライフステージ(成長期, 維持期, 高齢期など)を考慮した上での栄養管理の特徴が理解できる。	1.5時間: 指定教科書にて予復習
11		講義	ペットフードの種類、そして分類について理解できる。	1.5時間: 指定教科書にて予復習
12		講義	犬・猫に与えてはいけない食物、そして中毒について理解できる。	1.5時間: 指定教科書にて予復習
13		演習・講義	前期の授業内容の総復習	1.5時間: 授業スライドの復習
14		定期試験	定期試験の実施(筆記試験)	1.5時間: 授業スライドの復習
15		振り返り	定期試験の解説	1.5時間: 試験問題の見直し・復習
準備学習 時間外学習			指定教科書での学習で充当。	
【使用教科書・教材・参考書】				
動物看護の教科書 増補改訂版, 第4巻(緑書房)				

科目名	動物臨床栄養学 I 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮川
学科・コース	動物看護科 2・3年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	獣医科大学にて動物の腎臓病の研究中						
授業の学習 内容	授業形式としては、独自で作成したスライドを配布するので、それに書き込みながら学んでいただくというものです。内容としては、犬・猫の療法食についてであり、必要な知識を深めることはもちろんのこと、実際に動物のご家族に伝えたり、アドバイスできる能力を習得できることが本授業の特徴です。						
到達目標	1) 各療法食の栄養学的特徴を理解し、説明することができる。 2) 強制給餌の必要性、実施方法に関する知識を取得することができる。						
評価方法と基準	1. 定期試験：90%（14週目に筆記試験を実施） 2. 講義中の態度および出席率：10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	療法食 ①(心臓病での栄養管理の重要性が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
2		講義	療法食 ②(関節疾患での栄養管理の重要性が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
3		-	海外研修	-
4		講義	療法食 ③(癌での栄養管理の重要性が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
5		講義	療法食 ④(皮膚病での栄養管理の重要性が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
6		講義	療法食 ⑤(腎臓病での栄養管理の重要性が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
7		講義	療法食 ⑥(尿石症での栄養管理の重要性が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
8		講義	療法食 ⑦(糖尿病での栄養管理の重要性が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
9		講義	療法食 ⑧(肝臓病での栄養管理の重要性が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
10		講義	療法食 ⑨(便秘に対する栄養管理の重要性が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
11		講義	療法食 ⑩(肥満に対する栄養管理の重要性、そして減量プログラムの作成法を理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
12		講義	強制給餌および経管・静脈栄養法の特徴、そして実施上の注意点を理解できる。	1.5時間: 指定教科書にて予復習
13		演習・講義	後期の授業内容の総復習	1.5時間: 授業スライドの復習
14		定期試験	定期試験の実施(筆記試験)	1.5時間: 授業スライドの復習
15		振り返り	定期試験の解説	1.5時間: 試験問題の見直し・復習
準備学習 時間外学習			指定教科書での学習で充当。	
【使用教科書・教材・参考書】				
動物看護の教科書 増補改訂版, 第4巻(緑書房)				

科目名	動物臨床看護学実習 I	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮川
学科・コース	動物看護科昼二三年制	授業 形態	演習	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	①獣医師						
授業の学習 内容	この授業は動物看護の一連のプロセスを理解し、衛生管理・感染予防・栄養管理・カルテの見方・末期患者のターミナルケアなど動物看護に必要となる技術や知識を身につけることが目的です。						
到達目標	1)動物看護過程の一連のプロセスを理解する 2)入院動物の衛生管理・感染予防について学ぶ 3)症状や疾患ごとに必要となる処置を理解する						
評価方法と基準	定期試験100%(14週目に筆記試験を実施)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	身近な細菌を培養してみる	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
2		講義	海外研修	
3		講義	消毒剤の使用と調整の仕方を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
4		講義	染色方法(グラム染色など)と目的を理解する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
5		講義	カルテの書き方・見方を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
6		講義	聴診で聞こえる心配な音を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
7		講義	心肺蘇生法を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
8		講義	入院中の栄養管理を理解する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
9		講義	寝たきり患者の入院管理を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
10		講義	入院患者の看護(症例検討)を理解する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
11		講義	入院患者の看護(症例検討)を理解する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
12		講義	末期患者に対する心構えと飼い主対応を考える	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
13		講義	1~12週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14		講義	筆記試験	試験範囲の復習
15		講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習			学校犬飼育当番で充当	
【使用教科書・教材・参考書】筆記用具				



科目名	動物臨床看護学総論	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮川
学科・コース	動物看護科昼二三年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	①獣医師						
授業の学習 内容	この授業は動物看護過程の一連のプロセスを学び、コミュニケーションや定期検査の重要性、幼齢動物や高齢動物の管理、入院時の衛生管理の意識などを理解することが目的です。この授業で知識として理解し、「動物臨床看護学実習」で技術を身につけます。						
到達目標	1)動物看護過程の一連のプロセスを理解する 2)動物病院内または飼い主とのコミュニケーションの重要性を理解する 3)入院動物の衛生管理・感染予防について学ぶ 4)高齢動物のケア、リハビリ、健康管理について学び、QOL・ターミナルケアを理解する						
評価方法と基準	定期試験100%(14週目に筆記試験を実施)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義	動物看護について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
2	10月10日	休講	海外研修	
3	10月17日	講義	動物看護過程の展開について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
4	10月24日	講義	コミュニケーションと観察について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
5	10月31日	講義	感染予防・衛生管理について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
6	11月7日	講義	定期健康診断の必要性について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
7	11月14日	講義	入院看護管理について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
8	11月21日	講義	疼痛に評価と管理について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
9	11月28日	講義	幼齢動物のケアについて理解する	授業ノート、配布資料を見直す
10	12月5日	講義	高齢動物のケアについて理解する	授業ノート、配布資料を見直す
11	12月12日	講義	リハビリについて理解する	授業ノート、配布資料を見直す
12	12月19日	講義	在宅医療・終末期看護について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
13	1月16日	講義	1～12週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14	1月23日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	1月30日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習			授業ノートや配布資料を整理・復習・新しい言葉を調べる	
【使用教科書・教材・参考書】筆記用具				

科目名	伴侶動物学 I 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮川
学科・コース	動物看護科 昼二三年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	獣医科大学にて動物の腎臓病の研究中						
授業の学習 内容	授業形式としては、独自で作成したスライドを配布するので、それに書き込みながら学んでいただくというものです。 内容としては、犬・猫の飼育管理法についてであり、必要な知識を深めることはもちろんのこと、実際に動物のご家族に伝えたり、アドバイスできる能力を習得できることが本授業の特徴です。						
到達目標	1) 新生仔および幼齢期の犬猫の飼育管理を行う上での注意点を説明することができる。 2) 犬猫と暮らしていく上で、ワクチン接種の重要性を説明することができる。 3) 高齢期の犬猫の特徴、そして飼育管理をする上での注意点を説明することができる。						
評価方法と基準	1. 定期試験：90%（14週目に筆記試験を実施） 2. 講義中の態度および出席率：10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	犬・猫の歴史および代表的な品種、そして社会的役割について理解できる。	1.5時間：指定教科書にて予復習
2		講義	新生仔のケア(帝王切開時の手順など)、そして確認すべき点(疾患の有無など)を理解できる。	1.5時間：指定教科書にて予復習
3		講義	幼齢期の犬・猫の管理方法(低体温、脱水、低血糖を予防することの重要性が理解できる)	1.5時間：指定教科書にて予復習
4		講義	犬・猫の行動発達について理解できる。	1.5時間：指定教科書にて予復習
5		講義	犬の飼育管理法 ①(実際に飼育する上での注意点を理解できる)	1.5時間：指定教科書にて予復習
6		講義	犬の飼育管理法 ②(ワクチンなどによる感染症予防の重要性が理解できる)	1.5時間：指定教科書にて予復習
7		講義	猫の飼育管理法 ①(実際に飼育する上での注意点を理解できる)	1.5時間：指定教科書にて予復習
8		講義	猫の飼育管理法 ②(ワクチンなどによる感染症予防の重要性が理解できる)	1.5時間：指定教科書にて予復習
9		講義	高齢期の犬・猫の管理方法 ①(高齢動物の特徴が理解できる)	1.5時間：指定教科書にて予復習
10		講義	高齢期の犬・猫の管理方法 ②(褥瘡の予防および管理について理解できる)	1.5時間：指定教科書にて予復習
11		講義	高齢期の犬・猫の管理方法 ③(ターミナルケアの意味、そして実際の内容について理解できる)	1.5時間：指定教科書にて予復習
12		講義	高齢期の犬・猫の管理方法 ④(ペトロスの意味、そして対応の仕方について理解できる)	1.5時間：指定教科書にて予復習
13		演習・講義	前期の授業内容の総復習	1.5時間：授業スライドの復習
14		定期試験	定期試験の実施(筆記試験)	1.5時間：授業スライドの復習
15		振り返り	定期試験の解説	1.5時間：試験問題の見直し・復習
準備学習 時間外学習		指定教科書での学習で充当。		
【使用教科書・教材・参考書】				
動物看護の教科書 増補改訂版, 第4巻(緑書房)				

科目名	伴侶動物学 I 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宮川
学科・コース	動物看護科 昼二三年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	獣医科大学にて動物の腎臓病の研究中						
授業の学習 内容	授業形式としては、独自で作成したスライドを配布するので、それに書き込みながら学んでいただくというものです。 内容としては、エキゾチックアニマルの飼育管理法についてであり、必要な知識を深めることはもちろんのこと、実際に動物のご家族に伝えたり、アドバイスできる能力を習得できることが本授業の特徴です。						
到達目標	1) 各エキゾチックアニマルの主な特徴(習性, 解剖学, 生理学)の知識を習得することができる。 2) 各エキゾチックアニマルの飼育管理をする上での注意点を説明できる。 3) 各エキゾチックアニマルの主な疾患, そしてその検査および治療方法に関する知識を習得することができる。						
評価方法と基準	1. 定期試験: 90% (14週目に筆記試験を実施) 2. 講義中の態度および出席率: 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	セキセイインコ ①(インコの特徴, 飼育管理法が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
2		講義	セキセイインコ ②(インコの代表的な疾病が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
3		-	海外研修	-
4		講義	ウサギ ①(ウサギの特徴, 飼育管理法が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
5		講義	ウサギ ②(ウサギの代表的な疾病が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
6		講義	フェレット ①(フェレットの特徴, 飼育管理法が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
7		講義	フェレット ②(フェレットの代表的な疾病が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
8		講義	ハムスター ①(ハムスターの特徴, 飼育管理法が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
9		講義	ハムスター ②(ハムスターの代表的な疾病が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
10		講義	モルモット ①(モルモットの特徴, 飼育管理法が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
11		講義	モルモット ②(モルモットの代表的な疾病が理解できる)	1.5時間: 指定教科書にて予復習
12		講義	チンチラ, リスの特徴および飼育管理法, そして代表的な疾病が理解できる。	1.5時間: 指定教科書にて予復習
13		演習・講義	後期の授業内容の総復習	1.5時間: 授業スライドの復習
14		定期試験	定期試験の実施(筆記試験)	1.5時間: 授業スライドの復習
15		振り返り	定期試験の解説	1.5時間: 試験問題の見直し・復習
準備学習 時間外学習		指定教科書での学習で充当。		
【使用教科書・教材・参考書】				
動物看護の教科書 増補改訂版, 第4巻(緑書房)				

科目名	野生動物学	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長嶺幸 介
学科・コース	動物看護科昼二3年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	1		
教員の略歴	競走馬牧場、総合ペットショップ勤務、現在は生態科学研究機構副理事長。移動動物園、動物関連番組の監修等をしている						
授業の学習 内容	動物看護の分野は、ペットの分野だけでなく、野生動物の救護や動物園等の展示動物の診療をする病院での仕事など広がりを見せている。そうしたことから野生動物について学ぶ必要性が高まっている。この授業では「日本の野生動物の種類と保全について」と「動物園等の展示動物についてと保全や役割などについて」学び基本を身につける。						
到達目標	・日本に生息する野生動物の種類と特徴の概要を説明できる。・野生動物が関わる問題と保全の概要について説明できる。・飼育下繁殖と動物園の役割を説明できる。・野生動物獣医療の概要を説明できる。・野生動物の福祉上の問題点とその対策を説明できる。						
評価方法と基準	定期試験：100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	導入(授業について)日本の野生動物について理解する	授業の復習(ノート整理)
2		講義	野生動物の種類と特徴について理解する	授業の復習(ノート整理)
3		講義	野生動物と傷病動物	授業の復習(ノート整理)
4		講義	野生動物の保全(野生動物とは)	授業の復習(ノート整理)
5		講義	野生動物の保全(調査法と環境)	授業の復習(ノート整理)
6		講義	野生動物の保全(人の暮らしとの関連)	授業の復習(ノート整理)
7		講義	野生動物の保全(動物園)	授業の復習(ノート整理)
8		講義	野生動物の保全(水族館)	授業の復習(ノート整理)
9		講義	野生動物の保全(関連法規)	授業の復習(ノート整理)
10		講義	動物看護師と野生動物 野生動物救護について学ぶ	授業の復習(ノート整理)
11		講義	動物看護師と野生動物 野生動物の病気と事故	授業の復習(ノート整理)
12		講義	野生動物の福祉① 野生動物の福祉について理解する	授業の復習(ノート整理)
13		講義	野生動物の福祉② 希少動物やエキゾチックペットの商業取引について理解する	授業の復習(ノート整理)
14		定期試験	筆記試験	前期まとめと整理
15		講義	振り返りとまとめ	試験見直しとわからないところの確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 必要に応じて随時、書籍を使用。				